

8期 アクティブシニアをめざす

～そして生きがい再発見～

日時： 1月14日(木)10:00～12:00

場所： ナムの広場

学習テーマ：社会参加 「NPO 法人とは」

講師： 須貝昭子先生 特定非営利活動法人フォーラムみのお 理事長



内容 NPO とは (Non-profit organization) 非営利組織。政府や行政より独立して民間の立場で自発的に行って
いる営利(金儲け)目的ではなく永続性をもった団体のこと ⇒ 営利目的ではない法人、創立は、1995 年阪
神淡路大震災の時に始まる。

NGO とは、(Non-governmental organization) 非政府組織、国際協力に携わる非政府組織の民間団体の
こと。利益を目的とせず取り組む団体のこと ⇒ 開発途上国への支援など (ユニセフ・JICA)

ボランティアは、民間非営利組織。個人の自発性で 2011 年東日本大震災のおり多くの若い世代が参加が
始まる。自分の生き方を見つめ可能性を開く扉になる。

昔は、金持ちのほどこしだったが、今は、助けてもらう 助ける の相互にする

心構え・約束 秘密を守る

行動・自分でできる活動をする

・相手の気持ちを考える

・寄付をする

・わからないことは、聞く

・社会的に意義のある物品を購入

・元気と笑顔を心掛ける

・仲間やメンバーになる

・継続の為、無理をしない

・自分で立ち上げる

身近なところでは、岡町商店街の子ども食堂が 3 年前に立ち上げて活動をしている。

ボランティアから NPO にする為には、事業報告などいろいろ条件がある

コメント：数年前 私の身近な 20 代の女性が、JICA(海外青年協力隊)に 2 年間活動していた。：中村哲さんアフガニス
タンで無償の医療を行い干ばつの大地に 7 年かけて用水路を切り開き 10 万人の人々を救う。2019 年何者かに
よって銃撃を受け死亡、皆さんも記憶に新しいかと思うが、こんな立派な人がいたんだと頭が下がる思いだ。

ONCC 教務よりのお知らせ

アクティブシニア科の受講生のみ「シルバーアドバイザー認定書」取得申請についての話がありました。



須貝先生



ナムの広場教室



* しばらく休講です。また元気に再会できる日を楽しみに待っています。

広報担当 中村りう子

8期 アクティブシニアをめざす

～そして生きがい再発見～

日時： 12月24日（木） 10：00～12：00

場所： 豊中男女共同参画センターすてっぷホール

学習テーマ： 「古典芸能 歌舞伎のイロハ」

講師： 上方文化評論家 福井 栄一先生

内容： 江戸時代庶民の娯楽は4つの{み} 春の花見、夏の涼み、秋の月見、冬は雪見

16世紀末に入ってきた蛇皮線が三味線へと発展し、庶民の使える楽器ができたことによって、笛・太鼓とともに舞踊が盛んになる。

1603年出雲阿国が「阿国かぶき」として、庶民にもてはやされる。かぶきとは、「傾く」を語源とし、それがソング・ダンス・プレイを意味する「歌舞伎」となった。

1629年「遊女歌舞伎禁止令」1653年「若衆歌舞伎禁止令」をへて、「野郎歌舞伎」となる。その後「女形の誕生」---大人の男子が技術を磨いて修練し芸としての女形が成立
「ドラマとして見ごたえのある演目の誕生」――近松門左衛門などの優れた脚本家の誕生
「不易流行」

不易 ①自然の摂理として普遍のもの

②人が努力して変わらないように維持しているもの

流行 ①自然に変化していくもの

②人が意識して変化させているもの

何を変えてよいか、何を変えてはいけないかをしっかり見極める必要がある。

コメント：今に残る芝居用語に納得。佐野川市松を由来とする「市松模様」は、最近のアニメの影響で子供たちにも大人気ですね。

先生の資料の中に、コロナ時代を生きる指針として「清く、正しく、美しく」がありました。

清く・・・衛生面に気をつける

正しく・・・政府の政策も鵜呑みにせず自ら考え、暴利をむさぼる業者を利用しない

美しく・・・読書や配信された芸を見るなど、自分磨きに励む

コロナ禍におけるアクティブシニアもこうありたいものですね。



福井先生



今年もよろしくお願いいいたします

広報担当 福原 真弓

8期 アクティブシニアをめざす

～そして生きがい再発見～

日時： 12月17日（木）10:00～12:00

場所： 豊中市生活情報センター くらし館

学習テーマ：地域でつながる多文化共生のまちづくり

講師： 河合大輔先生 箕面市国際交流協会 事業課長



内容： 箕面市国際交流センターの紹介、事業内容。

日本における外国籍人の割合は2%と諸外国に比べ低い。箕面市の外国籍国数は約90か国

地域により就業業種は異なるが、一次産業、サービス業が多い、箕面市では留学生が多い。

外国人への差別、偏見はいまだに多い。2016年にはヘイトスピーチ解消法も施行された。

周囲の日本人の思い込みや認識不足から、地域に溶け込めない外国人がたくさんいる。

箕面市では、言葉の壁、制度の壁、心の壁の3つの壁を取り除くべく、国際交流センターが中心となって、外国人市民へのサポート、多文化を生かした地域づくりを進めている。

コメント：コロナで外国人観光客は激減しても、日本で働く人、留学生やその家族は、エリアに居住し、生活している外国人は多い。しかし近所の外国人との交流は少なく、話しかける事もない。私たち自身が言葉や、心の壁を取り除き受け入れる必要がある。まずは声掛けから。

午後： 13:00～15:00

SA認定証取得の話他、午後の授業は新型コロナ感染防止のため、中止となりました。



河合先生



メリークリスマス

*今年も残り少なくなりました。気温もずいぶんと低くなり、冬本番へ向かっています。アクティブシニアの皆さん、お体をご自愛され、よいお年をお迎えください。

広報担当 蔦 靖幸

8期 アクティブシニアをめざす科

～そして生きがい再発見～

日 時 12月10日（木）10時～12時
場 所 とよなか男女共同参画センターすてっぷホール（エトレ豊中 5F）
講 師 松村 幸裕子先生（共奏学舎 主宰 京都市ユースサービス協会理事）
学習テーマ 「地域の子どもは地域で育てる～北芝のまちづくり活動から見えてきたもの～」

内 容 松村先生は高校生の頃から、京都市ユースサービス協会にて、様々なボランティア活動に参加され大学院在籍中に、自らコミュニティスペースを立ち上げたり、高校生のまちづくり活動をサポートするなど個人・団体支援を行っておられます。特に、最近は子どもたちを取り巻く環境の変化が著しいというのは、新聞やテレビを通じ知っていたつもりであったが、具体的な数字を挙げながら日本における子どもの貧困の実態を聞くと、未恐ろしいことだと思わされた。経済的困難から、引き起こされる様々な問題をひとつ、ひとつあげられた。不十分な衣食住、適切なケアの欠如、文化的な資源の不足、低学力、不安感、不信感、孤立、排除などの実態をパワーポイントやスライドで分かりやすく解説された。

コメント 今まで、ひとり当たりの「GDPランキング」のような、数字ばかりが気になって、その数字を見ていたが、これからは「相対的貧困率」と言った負の数字にも目配りが必要かなと思った。例えば、一人当たりGDPランキング、7位の米国が、相対的貧困率の6位を占めているのは、貧富の差が大きいということなのだろう。貧困が、虐待、ネグレクトに繋がり、少年犯罪も年々、増加しているのではと心配したが、その数字を見てみると驚くことに、10年で4分の1に減っているのには、驚かされた。松村先生らが、やっておられる子どもの孤立、親の孤立をふせぐためのアプローチが、身を結んでいるのではと、喜ばしく思えた。但し、少年犯罪の再犯率は増えている。

12月9日、毎日新聞の朝刊に、TIMSSという、国際学力調査の発表が載っていた。たまたま、あくる日に貧困が、学力低下にもつながってくるとのことを聞いたので、もう一度、じっくりその記事を読みなおした。4年に一回の「国際数学・理科教育動向調査」で、小学4年と中学2年の児童生徒に実施されるものである。小学4年が、58カ国、中学2年は39カ国の参加。日本は、数学は中二が、前回より8点上昇して、594点と過去最高を更新、順位では一つ上げて4位。小4の算数は、593点で5位となった。ちなみに、1位から順に、シンガポール、香港、韓国、台湾、日本。こでも、松村先生たちの、ボランティア活動の成果が出てきているのか分析できれば、もっと遣り甲斐が感じられるのでは。



(広報 神谷和男)

8期 アクティブシニアをめざす科 ～そして生きがい再発見～

日時： 12月3日 10:00～12:00

(午後はコロナの感染予防のため中止)

場所： 豊中くらしかん

学習テーマ： 近代史：自由民権運動～憲法草案を読む

講師： 飯塚一幸先生（大阪大学大学院文学研究科）

内容： 自由民権運動とは藩閥政治に不満を持ち、民主的な政治を訴えていた旧士族や豪農、農民たちが中心になって行った自由を求める政治活動のこと。藩閥政治が始まった事で国民の不満が高まり、板垣・後藤・副島・江藤らを中心に初めての政党組織する『愛国公党』を組織する。明治政府の体制である藩閥政治に対して批判し、国民の政治参加や国会開設、立憲政体などを意図した『民撰議院設立建白書』を左院に提出する。それが自由民権運動のきっかけとなった。

「明治六年の政変」により、征韓論にて敗北した士族が政府を去る。その後、板垣が自由民権論を土佐を中心に広め始め、各地に広がる。

政府による憲法構想

① 左院にて国憲編纂で「国會議員規則」を作成

② 国憲起草の勅語

③ 元老院国憲案の作成を進めていく。運動が本格化し、国会開設運動の高まりに伴い、国会開設の前提となる憲法の必要性が認識されるようになる。

- 明治13年(1880年)11月の国会期成同盟第2回大会で、翌明治14年(1881年)に憲法草案を持参することを決議した。
- そして1881年の大会で、10年後に国会を開く「国会開設の詔」という約束を取り付けた。組織運動となって多数の私擬憲法（都市民権派・在地民権派・愛国社系政社などにより）が作られるが、明治18（1885年）大阪事件をきっかけに自由民権運動は破滅的な打撃を受け衰退していく。明治20年保安条例によって、私擬憲法の検討及び作成は禁じられ、政に議論されることなく、『大日本帝国憲法』に直接反映されることはなかった。

コメント： 教科書では、わずか数行でしか描かれない自由民権運動。出てくる名前には聞き覚えがあるけれど、難しい（ノン）資料を眺めるけれど？？あれこれ検索して「日本の辿って来た道、どう作り上げてきたのか」現代の日本の礎ともなったこの時代の歴史を知る中で、改めて、日本の秩序作りを模索・奔走した人々の熱量の凄さを感じました。コロナの大変ですが、平和で幸せな時代であることに感謝。政治戦略の裏側も記されていて、難しくはあるけれど歴史に興味が湧いてきました。



広報担当 藤林香澄

8期 アクティブシニアをめざす

～そして生きがい再発見～

日時： 11月26日（木）10:00～12:00

場所： 豊中市立公民館（曽根）

学習テーマ：自然：里山の危機

講師： 武田義明先生 神戸大学名誉教授 人間発達環境学



内容： 里山とは、集落の近くにあり人々の生活の為利用することで、生物多様性が維持されてきた環境のこと。切り出された木々は（肥料→水田 燃料→家事 建材→住居）に利用されてきた。近年、エネルギー資源の転換に伴いライフスタイルが大きく変化して、里山の危機が起こる。木々の手入れをしなくなり、里山に竹林の拡大・鹿による食害・人工林の荒廃・草原の減少等（例：再度山 枚方、吹田の緑地の減少 六甲山のはげ山 等の説明）今後の活動は、里山の保全、復元、創造の為、林野庁からの予算が削られ厳しい中、団体やボランティア活動で、里山を取り戻す活動を行っている。

コメント：大正生まれの母から、昭和初期までは裏山で、まったくがザクザク出たことをよく聞いた。

また叔父が炭焼き小屋で、炭を焼いていたこと、タケノコ堀をしたこと、庭には鶏が放し飼いそして牛がいたことを覚えている。

自然と動物が共生していたと思う。（ よき時代だったのだ ）

午後： 13:00～15:00

里山歩くは、新型コロナ感染防止のため、中止となりました。



武田先生の里山講座



9期学科説明会

*来期の講座内容が配布され、各地で学科説明会が実施されています。

アクティブシニアの皆さん、もう申し込みされましたか？ 締め切りは12月18日（金）17時です。

広報担当 中村りう子

～そして生きがい再発見～

日時： 11月19日（木）10:00～12:00

場所： ナムの広場文化会館

学習テーマ：社会参加「認知症と市民後見人」

講師： 田村満子先生 社会福祉士 「たむらソーシャルネット」代表



内容： 認知症や知的障害のため判断能力が不足すると、個人の財産保護のため、家庭裁判所は成年後見人を任命する事ができる。申請者は①本人、②親族、③市区町長、となる。
成年後見人は①親族後見人、②専門職（有資格者）、③市民後見人、から選任する。
本日のテーマは③の市民後見人について、制度の動向や諸問題、後見人の職務等を学んだ。
特に、地域の中で、本人を中心とし、取り巻く人々や行政がチームとなって支えていく事の大切さを知りました。

コメント：自分や家族がどの様な状態になったときに、成年後見人制度を利用するか、現状は相当悪化してからのようだが、まだ判断ができるうち（補助や補佐の時点）に、自分で申請する事が望まれる。また私たちシニアの社会参加の一つの選択として、市民後見人（無償ボランティア）を目指してはどうか・・・午後の振り返りでは、他人のプライバシーに入り込むため、ハードルが高いという声が多かったが、興味が有ると答えた方も居ました。

午後： 13:00～15:00

「60歳から輝いて生きる」DVD 視聴

1班から4班を、3グループに再編成し、フリートーク、社会参加と生涯現役を貫く人達の強い意志を感じました。



お世話になっています

吉永 CA 高山 CA



DVD 視聴



フリートーク

*大阪でのコロナ感染増加を受け、来週以降しばらくの間、午後の授業は中止の連絡がありました。

元気なアクティブシニアの皆さん、行動は控えめに、対策は慎重に!!

広報担当 蔦 靖幸

8期 アクティブシニアをめざす

～そして生きがい再発見～

日時： 11月12日（木）10:00～14:30

場所： 京都府立植物園 参加者： 19名+CA 2名

学習テーマ： 校外学習 秋の植物園に学ぶ

行程： 10:00 京都府立植物園北山口前集合

全体集合写真・班ごとに園内散策・自然観察

14:30 北山口前集合・点呼・解散

コメント：天候にも恵まれおいしい空気の中で、紅葉も花々も鑑賞することができた一日でした。

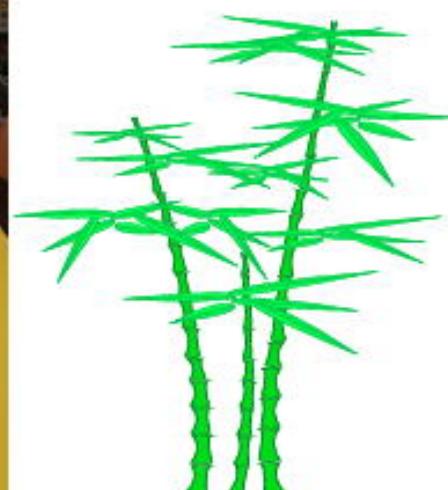
菊・コスモス・薔薇・カンナ・サルビアに十月桜、バナナやババイアの実と写真を撮るのに、忙しい人も多かったようです。

ヒマラヤ杉・レバノン杉、松ぼっくりを見つけては菅井先生の植物の授業を復習し、もみじの映える水辺では土方先生の言葉を思いだし、絵心を刺激された人は帰宅後スケッチブックに向かっていることでしょう。

半木神社に参拝しました。植物園ではたくさんの実が結ぶことからいろいろの願いが成就する（実を結ぶ）ご利益もあるのだとか。「アクティブシニアのみんなの想いが実りますように」。



植物園近くの創作料理 花梓侘 の手毬寿司



広報担当 福原真弓

8期 アクティブラーニングをめざす科

～そして生きがい再発見～

日 時 10月29日（木）10時～12時

場 所 ナムの広場

講 師 市 大樹先生（大阪大学大学院文学研究科教授）

学習テーマ 「飛鳥の木簡—古代史の新たな解明」

内 容 今私達は、「令和」の時代を生きている。中国発祥で日本では、飛鳥時代から1300年以上使用されている元号は、一つの時代の区切りとして国民生活に浸透しています。今回の授業は、掘り起こされた木簡から、「古代史の新たな解明」を学ぶ授業でした。

講義は、1) 飛鳥諸宮の変遷 2) 飛鳥池木簡の世界 3) 三川国からの仕丁 等の項目で、大化の改新、中国、朝鮮半島との関係及び、藤原京造営・律令制度の成立時期など、木簡から浮かび上がった史実等から、当時の時代を考察する授業であった。

飛鳥時代は、日本史の区分の一つであり、広義的には、飛鳥に宮都が置かれた592年から710年までの118年間と言われています。私たちは、元号で思い出を刻み、人それぞれの年にふさわしい思い出を抱いています。飛鳥時代の人達の生涯はどうであったのか？興味をそそる授業でした。

コメント 濡氣を帯びた土中深くに抱かれ見つかった木簡が、日本史学にとって欠かせない資料となっている事を、改めてしりました。木簡から、秘められた古代の姿を見つめ、尽きない想いに浸りました。興味ある方は、市 大樹先生の著書「飛鳥の木簡—古代史の新たな解明」と題して、中公新書から出版されていますので一読ください。

13時～ 午前の授業の振り返り 班別意見発表

参考4班 ①木簡から現在につながる歴史が見えてきた。

②太古の昔から干支（十二支）が取り入れられていた現象があり驚いた。

③考古学のお話でもあり、少し難解な授業であった。

11月12日 校外学習（京都市植物園）の案内

9期オープンカレッジ「心を豊かにする音楽科」のお知らせ

9期オンライン講座のためのZOOM体験募集案内

14時～ 成果発表会へ向けて 班活動



広報 永田 正

8期 アクティブシニアをめざす

～そして生きがい再発見～

日 時 10月22日（木）10時～12時

場 所 豊中市生活情報センター くらし館

講 師 菅井 啓之様（元京都光華女子大学教授）

学習テーマ 「身近な草木に生き方を学ぶ」

内 容 日常、私たちは何気なく植物と接している。春、桜の花が満開の時期の花見、秋の紅葉時期の紅葉狩りなど、長い歴史の中で、日本人特有の文化として草木を愛する習慣が身についていると自負していた。しかし、本当に植物をどのくらい知っていたのだろう？先生が、持参して来られた虫食い葉を、突き付けられてほとんどの葉が、左右対称に虫に食われているのに驚いた。虫食い葉を、観察の対象と見たことがなかったからだ。一つの草を、じっくり観察するとその草が、生育していくためには、太陽（日）があり、根から栄養素を取るために、土壌（土）も、雨（水）も必要としと、一週間の日、月、火、水、木、金、土が全部要る。まるで、一本の草から、小宇宙が見えてくるのでした。先生の、バッグから取り出される、種や根や数々の植物は、まるで手品師の魔術を見ているようであった。授業が終わった後、皆が異口同音に、「目から鱗」と今までの、授業では見られなかった感動を覚えた。

コメント 菅井先生が、服部緑地で毎月最終土曜日にやっておられた、「植物観察会」に以前参加したことだったので、お久しぶりにお目にかかるのを楽しみにしていました。相変わらず、博識で「生きた学問」を見せていただいた思いです。これから、11月には京都植物園に行きますので、今日のお教えを活かして観察してきます。

13時～15時 手話グループとの交流

講 師 手話サークル 「あさなぎ」

内 容 手話を始めたきっかけ、実際の活動の話を聞き、手話体験、ほとんどの人にとって手話は始めての、体験であった。外国語を学ぶのとは、ちょっと違った貴重な経験であった。外国語の場合、発音の難しさに直面するが、手話は発音がないだけある意味、楽かも？「ふるさと」を手話で歌う。

コメント 手話が、方言を乗り越えられず、大阪と東京でも、違った手話もあると聞いてエスペラント語に続く世界語になぜ挑戦しなかったのかとがっかりしていたが、指文字で分かった。50音になると日本語独特のものであった。 広報（神谷和男）



8期

アクティブラジニアをめざす科

～そして生きがい再発見～

日時：10月15日（木）10時～12時

場所：5F すべてホール

講師：新崎国広先生（大阪教育大学・社会福祉士）

テーマ「社会参加」：ボランティアってなあに？

楽しくお互いに元気になる生き方～新しいボランティア・ライフのすすめ～

① ボランティア活動の今日的意義を学ぶ…温故知新とイノベーション

② ボランティアは、元気の秘訣⁈…「人は必要とされることを必要とする」
「情けは人の為ならず」

③ ボランティア大会に参加された皆さん、「助け上手 助けられ上手」になって健康で
生き生きとボランティア活動を継続したくなる！…△（参画）するのに□（資格）は、いらない⁈

④ セルフネグレクト

⑤ 新型コロナウイルスの3つの顔を知ろう！…負のスパイラルを断ち切るために

コメント「青春」サムエル・ウルマンの詩が心に響き、心豊かに年を重ねるべく、楽しくボランティア活動に関わっていけたらここからの人生、バラ色に輝くに違いない！

助け上手の大坂のおばちゃんに意欲を燃やしつつ、助けられ上手な素直なおばあちゃんを目指したい。

13時～13：30分

①ラジオ体操

②振り返り 午前中の講義の感想等を、班単位でまとめて発表

13時：30分～14：30分 地域交流 傾聴グループ 池田傾聴さつき

講師：伊藤さん（池田傾聴「さつき」代表、SAいけだ副会長

藤田さん（池田傾聴「さつき」副代表、SAいけだ副会長

テーマ 池田傾聴グループ「さつき」との交流

① 「傾聴とは？」（伊藤さん）

傾聴のはなし…心の浄化作用・傾聴=耳+目と心できくこと

傾聴の心構え…大事なこと・観察・信頼関係・共感受容・寄り添い

その他大切なこと・聴く姿勢・基本的な応答

② 傾聴 ロールプレイング（藤田さん）

・利用者設定A…認知85歳で配偶者無くし特養入所3か月、帰宅願望をおさめる

1・3班の代表者でロールプレイング体験

・利用者設定B…認知症90歳で施設入所。ここ数か月、物を取られたと部屋に入る

お手伝いさんを疑い警察を呼んでと言う

2・4班の代表者でロールプレイング体験

コメント AさんBさんになりきって抵抗し、傾聴側も納得されるように話をもっていかれていて、さすが！

「治療に傾聴の手法を活用し患者様に接し話を聴いたなら治る可能性が広がるのでは」

と話されていたのが印象的でした。人にとって聴いてもらえることができる環境があると

いうことが、いかに大事なことなのかが伝わってくる言葉でした。（広報担当 藤林）



8期 アクティブラジオシニアをめざす科 ～生きがい再発見～

第5回 「中国の詩にうたわれた子ども」

講師 浅見洋二 先生（大阪大学大学院文学研究科）

日時 10月 1日（木）10時～12時

場所 正福寺 ナムの広場文化会館

- 内容
- ・六朝、唐、宋の時代を中心とした、古典中国の詩学を専門とする浅見先生による、その時代の子供を見る目、心などを漢詩を通して、表現がどう変化していくかを学ぶ。
 - ・唐までの漢詩に出てくる子供は、エリート、特權階級などによる、自己PRや、師、偉人をたたえる堅いものだが、宋以降、自己謙遜や哀愁、子供への細やかな愛情表現へと変化していく。年号、作者、漢詩と読み、和訳を中心にひも解く。

- コメント
- ・杜甫以降の自由で、情緒溢れる表現は、漢詩が上層階級のたしなみから、大衆の教養へと広がっていったからだと思う。中国、日本、世界のその時代の出来事や風俗を知れば、もっと興味深いだろう。そして、その時代の文化は、日本の文化へ大きく影響を与えたと感じた。

HR 13時～15時

ラジオ体操 大阪方言バージョン

振り返り 午前の授業の感想等を、班単位でトーク

古代中国と現在日本の子供感、自分が子供のころと現在への移り変わり、漢詩に関するイメージの変化、なぜ子どもがテーマなのかなど、各班より発表された。

年間テーマ 前々回に続き、年間テーマについて各班で討議。次回発表。

社会見学 11月12日の社会見学の場所選定について、各班で協議

①京都植物園、②天王寺動物園の2案が提案される ①がやや多い
詳細を立案し、後日決定

お誘い 3班 森田さんより 水曜日で場所がナムの日 お茶の会「茶楽」への参加募集有り



浅見先生

ラジオ体操

班活動

8期 アクティビシニアをめざす科

～そして生きがい再発見～

日時：9月24日（木）10時～12時

場所：国際交流センター

講師：斎藤理生先生（大阪大学大学院文学研究科）

内容「近代文学：太宰治「人間失格」を読み直す 大庭葉蔵の手記のくふう」

- ・作品で何（WHAT）が、書かれているか、ではなく、内容が、どのように語られているか（HOW）に注目。
- ・名作とは、いつ、どの年代で読んでも、また何度も読み返しても、その都度発見があり、共感できる作品のこと。「人間失格」は、その意味でも名作である。さまざまな読み方ができる。

コメント・人間失格を読むと、好き嫌いがハッキリ分かれるそうだ。

嫌い・・・こんな人間は最低だ。自分は、こうなりたくない。

好き・・・この主人公に共感。人間はみんなこんな部分を持っている。

今の自分はどのように思えるのか、読み直してみたくなった人も多かったようです。

13時～15時 「豊中の街を知る」能勢街道を歩く ①豊中駅周辺

講師 河合孝子、山田哲夫 先生（豊中の文化と歴史の会）

コース ①高校野球発祥の地 大正14年 第一回全国中等学校優勝野球大会

②豊中稻荷神社

③豊中カトリック教会 80年前に建てられた国の登録文化財

④看景寺 創建は今から1300年前、行基が開創

1, 2班 ③→②→④→① 講師 河合さん

3, 4班 ①→④→②→③ 講師 山田さん

コメント ①高校野球発祥の地には、優勝校のプレートが第1回から100回まで有るのだが、米騒動と第2次世界大戦の年は中止と書かれている。今年は、「コロナで中止」と書かれるのであろうか。

③豊中カトリック教会は、存在は知っていても機会がないと入れないので、今回は中まで見せていただき、感激した。洋風と和風の混在した建築様式がめずらしかった。

